

プレスリリース（第1報）

令和8年1月2日
大分県農林水産部

大分県特定家畜伝染病総合対策本部会議の開催について

- 昨日、特定家畜伝染病「高病原性鳥インフルエンザ」が疑われる事例が、宮崎県延岡市の種鶏農場で確認されました。
- 佐伯市の一部地域が当該農場から半径3kmの移動制限区域及び半径10kmの搬出制限区域に含まれます。
- これを受け、本日午後3時から、「大分県特定家畜伝染病総合対策本部会議」を書面開催します。
- 本部会議終了後、午後3時30分から記者会見室において会議内容の説明を行います。

1 農場概要

所在地：宮崎県延岡市

飼養状況：種鶏 約6,000羽

2 確認の経過

- (1) 1月1日、宮崎県より宮崎県延岡市の種鶏農場で鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ、陽性を確認した旨の連絡を受信。
- (2) 佐伯市の一部地域が当該農場から半径3kmの移動制限区域及び半径10kmの搬出制限区域に含まれることを確認。

3 大分県特定家畜伝染病総合対策本部会議の開催

日 時：令和8年1月2日（金）午後3時～（書面開催）

※ 本部会議終了後、午後3時30分から記者会見室で畜産振興課長等による会議内容の説明を行います。

4 その他

- (1) 我が国ではこれまで家きん、家きん卵を食べることにより、人に感染した例は報告されていません。
- (2) 高病原性鳥インフルエンザは、現場で取材される際に、靴底や車両からウィルスが拡散する懸念があります。また取材ヘリやドローン等に起因する地元住民の皆様からの苦情や、防疫作業への影響が懸念されます。このため、発生農場はもとより、その周辺の農場における取材については、厳に慎むようお願いします。

(3) 今後とも、本件に関する情報提供に努めてまいりますので、生産者等の関係者や消費者が根拠のない噂などにより混乱することがないよう、御協力をお願いします。

問い合わせ先
大分県農林水産部畜産振興課
電 話：097-506-3678
担 当：本田、滝澤